

移動運用の HB9CV 紹介

DE JA1WOB 斎藤

奥多摩や奥武蔵への移動運用は既にTWO-FORTY誌で紹介しました。今回はその移動運用で使用している2エレのHB9CVを紹介します。このHB9CVは12年ほど前のCQ誌に掲載されていました、記事を参考に持ち合わせの材料を使用して製作したものです。

ブーム部分は塩ビのVP-13パイプはDIY店で手軽に入手出来る材料です、製作当初のエレメントはマスプロの4エレの廃材を利用し、ショートバーのエレメント部分はDIY店で入手出来る10mmのアルミパイプを使用し、接合部は目玉クリップを半田付けして製作しました。

移動運用の度に色々な不具合点があり、何箇所か改造を加えて3年位前から現在のスタイルになりエレメントの全て10mmアルミパイプを使用しています。製作のポイントは移動運用で使用するために、以下の事を考慮しました。

- ① 組立てが簡単でること
- ② 短時間（5分以内）で出来ること
- ③ 軽量で収納時にコンパクトでること
- ④ 1mの釣竿ケースに収納できること
- ⑤ 特別な材料を使用しないでDIY店等で入手可能なこと

4月30日に青梅市の岩茸石山（793m）に移動した際のHB9CV組み立てと設営の様子です。

1. 山頂に到着



この釣竿収納用ケースに、エレメントブーム、ポール、同軸ケーブル、ロープ、ペグ、ゴム鎚、ペンチなどが入っています。

2、エレメントを釣竿ケースから出す



組立て前の HB9CV エレメント。
エレメントに張ったビニール
テープは、ブームへの取り付け
目印やショートバー位置の目印
です

3、エレメントの接合

エレメントの切り込み部分に
挿入する様子です
下が挿入まえ、上が挿入途中で
す。



エレメントの接続部分
エレメントの一部に切り込みを
入れて、エレメント挿入して接続。
片側はタッピングネジで取り付け
て
ある



3、ブームを伸縮ポールに取り付け



ブームにエレメントを取り付ける前の状態、エレメントクランプとアルミパイプの一部に切り込みを付けた物にショートバーを取付ける

4、エレメントとショートバーの取り付け

エレメントをブームに取り付けた状態、ビニールテープは取り付け方向の目印、エレメントクランプにはマジックインクで目印ショートバーは切込みアルミパイプに差し込む



5、ショートバーの接続



ショートバーの接続は、目玉クリップを加工して、半田付けしたもの。ビニールテープは目玉クリップを取り付ける位置の目印で、これで VSWR は 1.5 以内です。

6、HB9V 設営完了



伸縮ポールに取り付けて完成した状態です。
430MHz のモバイルホイップもおまけで取り付けました。
この様に設営するまで 5 分以内で組立可能です。

この日は 50MHz の 2.5W 運用で新潟県小千谷市や福島県いわき市など 15 局との QSO が出来ました。
また、430MHz で 23 局との QSO が出来ました。

おわり